

そらべあ学生レポーターがゆく!

そらべあイルミネーション@そらべあ学生事務局

学生ならではの視点と行動力で環境問題に関する取り組みを行なっているそらべあ学生事務局が、昨年の12月10日、武蔵野大学で行われた「Candle Night」イベントとのコラボレーションを実現しました!

私たち「そらべあ学生事務局」は自然エネルギー、特にソーラーエネルギーの啓発・推奨を行っている団体です。今回私たちは、昨年年12月10日に行われた、武蔵野大学主催の「Candle Night」に参加させていただき、そこでソーラーエネルギーを使ったイルミネーションを灯しました。

この企画は、ソーラーエネルギーは本来、私たちのすぐ身近にあるということを知ってもらいたいという私たちの想いを、武蔵野大学さんにご賛同いただいたことで、実現にいたりしました。

当日は必要な備品を学生事務局のメンバー4人で運び、武蔵野大学の環境サークルのメンバーと一緒に会場のセッティングを行いました。時間がなくなかでの準備でしたが、飾り付けのイメージはその場のアドリブで考えたりと、非常に楽しく行うことができました(笑)

夜の教室に美しく浮かびあがるそらべあイルミネーションとキャンドルの灯り。さらにそのなかで流れる楽器の生演奏……。日常の生活では滅多に味わうことのできない、とても穏やかで心落ち着く時間となりました。さらにイベントでは、私たち学生事務局の活動紹介もさせていただきました。こうした取り組みを通じて、「そらべあ」のこと、「再生可能エネルギー」のことを、1人でも多くの人たちに知っていただく機会になれば、とてもうれしく思います。

レポーター：そらべあ学生事務局 金井美穂

そらべあ学生事務局のブログ <http://ameblo.jp/sorabea-stu>



そらべあ基金事務局のつぶやき

そらべあサポーターズクラブのみなさま、こんにちは! そらべあ基金の湯山です。今回はそらべあが大好きなみなさまへうれしいお知らせです! そらべあの生みの親であるデザイナー Shinzi Katoh 先生が、そらべあの新しい絵本を出版しました。前作では、暮らしていた氷の大地が地球温暖化によって溶けてしまい、お母さんとはぐれてしまった「そら」と「べあ」。ふたりはお母さんを探す旅に出ることにしました。今回のお話は、そんなふたりの道中の物語です。みなさんより一足先に読ませていただきましたが、どんなものにも興味津々だけど甘えん坊な「そら」と、そんな弟の面倒をみるしっかり者の「べあ」の兄弟が本当に可愛らしい! 北極に暮らす珍しい動物たちも登場します。どんな動物たちが登場するのか? 「そら」と「べあ」はお母さんと再会できるのか? 表紙で掲げる「SOS」の旗の意味は――?

最新絵本「そらべあ はじめての だいぼうけん」は、岩崎書店より発売中です。ぜひお手に取って、そらべあの冒険をのぞいてみてください!

Shinzi Katoh 先生のオンラインショップ「Shinzi Katoh Collection」からも絶賛発売中です!
<http://shinzikatoh.shop-pro.jp/>

題名：そらべあ ～はじめての だいぼうけん～
著者名：Shinzi Katoh / 文・絵・装丁
出版社名：岩崎書店 (ISBN : 978-4-265-83017-6)
価格：1,400 円(税抜)



そらべあサポーターズクラブ

オフィシャルサポーター：ソニー(株)、ソニー生命保険(株)、ソニー損害保険(株)、ソニーマーケティング(株)
サポーター：(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)ホンダソルテック、(株)毎日新聞社
応援団：8社
個人・ファミリーサポーター：59名
(2014年3月31日現在)



読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。

そらべあ便り

Sorabear Newsletter | Vol.19



そらべあ便り vol. 19

2014年4月発行
編集：加藤聡
デザイン：小池隆夫

NPO 法人そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋2-5-6
大村ビル8F
TEL : 03-3504-8166
FAX : 03-5157-3178
<http://www.solarbear.jp>

©Shinzi Katoh

REPORT

そらべあスクール電カプロジェクト 「筑波大学附属小学校」編

2014年1月24日、東京都文京区にある筑波大学附属小学校で、「そらべあスクール電カプロジェクト」を実施しました。同プロジェクトは、子どもたちを持続可能な社会の担い手へと育むべく、再生可能エネルギーの重要性について考えてもらおうと、昨年5月よりスタートした小学校向けの環境授業です。

今回参加してくれたのは4年生の児童40名。この日の授業を、心待ちにしていた子どもも多いと聞き、講師役を務めるスタッフたちにも思わず力が入ります。授業は、「地球温暖化とエネルギーのはなし」「太陽光発電キットの組み立て」「電気をつくってみよう!」からなる3部構成で、単に再生可能エ

ネルギーの知識を教えるだけでなく、自分たちで太陽光発電システムをつくり、明かりをつけてみることで、エネルギー問題を自分ごととして考え、行動するきっかけにしようことを目指しました。

一番のメインとなる太陽光発電キットの組み立てには、20Wの太陽光パネルと、チャージコントローラー、バッテリー、インバーターを用意し、ドライバーや圧着工具を用いて配線するという作業を行います。正直、電気の仕組みを理解しなければ大人でも簡単ではない作業内容ですが、あえて専門的な工程を盛り込むことで、グループで協力したり、話し合いながら、完成を目指してもらいました。

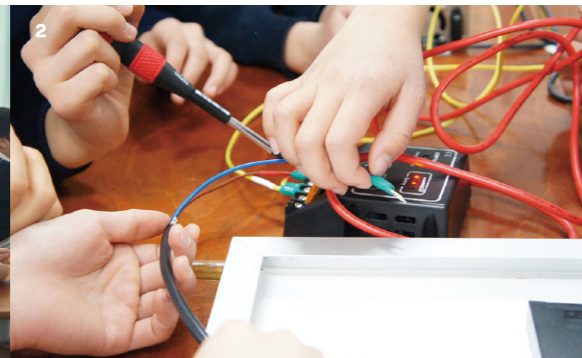
さて太陽光発電キットの接続を終えたあとは、本当にパネルから発電できているかのチェックです。LEDライトのコンセントをインバーターのプラグに挿し込むと、色とりどりのイルミネーションが一斉に点灯! 子どもたちからは大きな歓声と拍手が上がりました。この日、手伝いに来てくれたそらべあ学生事務局が作成した「そら」と「べあ」のシルエットのイルミネーションも点灯され、「かわいい!」と大好評でした。

授業の最後には、今回完成させたミニ発電所の学校での使い道をみんなで考え、再生可能エネルギーの活用を、ぜひ学校全体の取り組みの一つにしてほしいと伝えました。今後もそらべあスクール

電カプロジェクトは、太陽光発電システムづくりや発電体験を通じて、電気の大切さや世界のエネルギー問題に気づき、行動する子どもを増やしていくよう、取り組んでいきます。

【そらべあスクール電カプロジェクト応援企業】
三井不動産株式会社
株式会社ディノス・セシール
株式会社 SWING-KITCHEN

1: 地球温暖化の解説に聞き入る子どもたち/2: 「+」と「-」はあっているかな?/3: 太陽光発電キットと「ちゃんとライトが点いたよ!」と嬉しそうなお子様たち/4: プロジェクトを応援いただいた企業のみなさま



REPORT

そらべあスマイルプロジェクト そらべあ発電所寄贈記念式典 静岡県浜松市「花園幼稚園」



11月25日、静岡県浜松市の花園幼稚園で、「そらべあ発電所」の寄贈記念式典が行われました。花園幼稚園はこれまで発電所を寄贈してきた幼稚園の中でも、最も大きな施設となります。式典には、3～5歳までの計345名の園児さんに参加いただき、紙芝居の読み聞かせや、温暖化にまつわるクイズ大会、そらべあとの交流などを一緒に楽しみました。

そして、太陽光発電のパワーと電気の大切さを感じてもらうために毎回実施している、手回し発電機を使った発電体験には、一番初めに手をあげた男の子が挑戦しました。全身を使って勢いよくハンドルを回す男の子。「もっとまわせー!」「がんばれー!」というみんなからの声援に、さらに力が入ります。豆電球をしばらく点灯させたところで発電体験は終了。「電気つくるの、大変だった?」というスタッフの質問に、男の子は少し疲れた様子でうなずいていました。

この日の会場となったホールからは、子どもたちの目線からでも太陽光パネルを見渡すことができます。子どもたちの目に触れやすい場所にパネルがあることで、これからも環境やエネルギーに対して意識の高い子どもたちが育ってくれることを

願います。

また、同園では海岸に近いという土地柄、建物の耐震性や津波に対する強度を十分に確保するのはもちろんのこと、4階・海拔16メートルの場所に避難場所を設置したり、全園児・全教職員にライフジャケットを常備するなど、災害対策に力を入れています。今回寄贈された、太陽光パネルやホームエネルギーサーバー（家庭用蓄電池）についても、一層の災害対策としての活用を考えていきたいとのことでした。



太陽光発電設備寄贈のお礼に子どもたちから歌のプレゼント

4

5

6

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

